

広報

今 帰 仁 なきじん

毎月1日発行

NO.295

2000
6月

●今帰仁村の人口
男4,785人(+1) 女4,739人(+4) 計9,524人(+5)
世帯数3,362戸 (+17) 平成12年4月30日現在

今帰仁御神



アロエの里・今帰仁を目指して・・・ 待望のアロエ加工工場が完成

農産物加工施設、(有)琉球アロエ加工工場(代表・喜屋武国男)が五月十七日、与那嶺区に完成、落成式が行われた。加工施設は、農業を推進する新しい産業の創出とアロエベラの産地化を目指すとともに、農家所得の向上や遊休農地の解消が見込まれることから、国や村の補助を受け総事業費、約三億円を投じ建設を進めてきたもの。

同社では、生産農家と六ヘクタールの栽培契約を結び、アロエベラの一時加工を中心としたアロエドリンク(商品名・体内美人)の製造をはじめているが、将来は三〇ヘクタールまで拡大し事業を展開したいとしている。

今帰仁村民憲章

- 一、 みんなで守ろう 恵まれた自然と文化遺産を
- 一、 みんなでつくりよう おいとやすらぎのある村を
- 一、 みんなで育てよう のびゆく力と豊かな心
- 一、 みんなでめざそう 健康で希望に満ちた村を
- 一、 みんなで築こう 平和で明るい活力のある村を

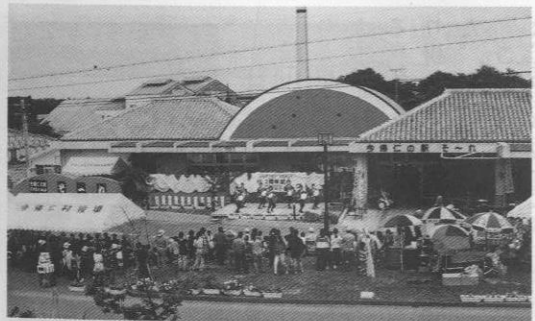
「見つけよう こどもの笑顔 わたしの笑顔」をスローガンにした「児童福祉週間」を前に村コミュニティセンターで、こいのぼり掲揚式(主催:村社会福祉協議会)が行われた。

この日は、招待された仲宗根保育所(上間昭子所長)くま組の元気なちびっ子二十四名が、先生の掛け声に合わせて手にしたロープを一齐に引き始めると暖かい風をはらんだ、大きなこいのぼりが勢よく泳ぎだした。



その後、おとば学園のお友達やデイサービスで訪れた皆さんの見守る中、園児たちは、覚えてたの手話を使った「こいのぼりの歌」を披露した。すると、おじいちゃんやおばあちゃんからかわいい演技の御褒美としてお菓子の包みが一人ひとりに手渡され、会場内に子どもたちのはしゃぎ回る声がこだました。

主催者の上間敏雄会長は「子どもたちが大空を泳ぐこいのぼりのようにのびのびと育ってほしい」と話した。



▲大勢の買い物客と見物客で賑わった



特産品の加工・直売と、地域の交流と情報発信の拠点としてオープンした今帰仁の駅「そーれ」が、四月二十九日(みどりの日)に二周年を迎え、盛大に感謝祭が行われた。

その日は、紅いもアンダギーやゴーヤーアンダギーの実演販売をはじめ、店頭には「そーれ限定」大根のウッチン漬けやたんかんジャムのほか、すいかや新鮮な野菜、花の苗など特産品が所狭しと並べられ、当日限りの特売品を買い求めるお客さんで賑わいを見せた。

また、島バナナやアダンの木で飾り付けた特設ステージ



▲優雅な舞を見せる「うるま子供舞踊団」の皆さん

ジでは、村内外で活動する、いまじん太鼓、今帰仁民謡愛好会、今帰仁うりずんの会金城舞踊舞踊研究会(うるま子供舞踊団)のみなさんの勇壮かつ優雅な演舞が行われ感謝祭に華を添えた。

今帰仁の駅「そーれ」の運営にあたる村生活改善グループ上地文字代表は、「地域に根ざした「そーれ」を目指し、村のPRに貢献していきたい」とこれからの抱負を力強く話した。

なお、「そーれ」誕生記念日である四月二十九日には、毎年、感謝祭の開催を予定しており、これからも、皆様のご声援をお願いします。

▲「そーれ名物」紅いもアンダギーの実演販売

子ども達に「生きる力」と「豊かな心」を

平成十二年度村学力向上対策委員会総会



▲あいさつを述べる大城藤夫学対委員長

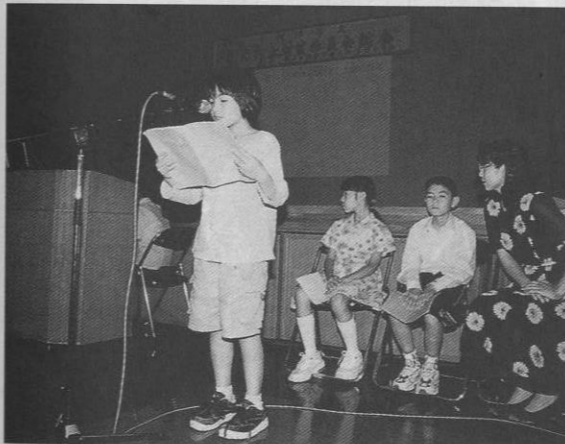
学校、家庭、地域、行政の連携した取組みにより、年々成果をあげている本村の学力向上対策委員会の総会が五月十二日、村コミュニティセンターで行われた。

関係者百五十人余りが参加した総会では、学力向上対策の基本構想の考えを示したあと、平成十一年度の成果と課題についての報告があった。家庭地域では「朝読み、夕読み」にみられる読書活動が行

われ、子ども会の主体的・創造的活動の取組みにより、リーダー意識の高まりが見られた。また、学校では「参加する授業」「わかる授業」の工夫、「地域人材を活用した総合的な学習」の取組みのほか、子供たちの読書量の増加などの成果が上げられた。

推進期間も四年目に入り、今後、一層学校、家庭、地域、行政の連携を強め、役割、責任の分担の明確化で学力向上対策の取組みが村民全体のものになるようにと呼び掛けた。その後、大城茂樹学校指導主事と上間真樹子社会教育主事補から本年度の学校教育委員会と地域・家庭教育部会の具体的取組みについて説明があった。

また、実践発表



▲今帰仁小の「メールを利用した交流学习」の発表

では今帰仁小から濱川直子先生と児童四名が「山形県・天童北部小学校とのメールを活用した交流学习」について、古宇利小中学校からは「小規模複式学級の特性を生かした指導法の工夫」、また、与儀常次湧川区長からは「田植えを通じた伝統芸能の継承」など、それぞれの実践例が発表された。

「地域の子ども会活動を促進し、青少年の健全育成を進める」村子ども連絡協議会の総会が四月二十六日、村中央公民館で開催された。

事務局からは「子ども会活動は、字単位が活発になることが大切です。子どもたちのやる気を促し、自主性を育む上でも字単位のジュニア(中学生)リーダー・シニア(高校生)リーダーを活用し、うまく活動を進めていけるよう育成者は側面から支えてもら



▲懇親会で互いの思いを語り合う

村子ども会総会 新体制でスタート

「地域の子ども会活動を促進し、青少年の健全育成を進める」村子ども連絡協議会の総会が四月二十六日、村中央公民館で開催された。

事務局からは「子ども会活動は、字単位が活発になることが大切です。子どもたちのやる気を促し、自主性を育む上でも字単位のジュニア(中学生)リーダー・シニア(高校生)リーダーを活用し、うまく活動を進めていけるよう育成者は側面から支えてもら

平成12年度村子ども連役員

- 相談役 喜屋武 治樹(仲尾次)
- 会長 根路銘 弘美(平敷)
- 副会長 与那 満(天底)
- 事務局長 仲宗根 安枝(与那嶺)
- 事務局 高田 智子(運天)
- 書記会計 諸喜田 スエ子(仲宗根)
- 監事 諸喜田 展生(玉城)
- 東恩納 寛政(湧川)

「新しい役員体制が承認され、四年間会長を勤めてこられました喜屋武治樹さんが相談役へ、新会長として根路銘弘美さんが就任しました。

最後に、昭和五十六年の村子ども会設立当初から子どもたちの健全育成に携わってこられました相談役の三輪茂穂さんの勇退が伝えられると、これまでの長年にわたるご尽力に対し、会場から惜しみない盛大な拍手が送られた。

三輪さん、本当にご苦労さまでした。

また、新しい役員体制が承認され、四年間会長を勤めてこられました喜屋武治樹さんが相談役へ、新会長として根路銘弘美さんが就任しました。

「いたい」と呼び掛けた。また、参加者は役員だけでまかせせるのではなく地域の大人達が共通意識を持ち、子どもたちを育てる環境を創りだして行こうと確認し合った。

いつまでも、健康で豊かな人生を過ごしていこうと四月二十一日、村コミュニティセンターで北山老人大学の開講式が行われた。

学級長の嘉陽宗平さんは、「いつまでも元気に生き甲斐を持ち続けよう」とあいさつを述べ、今年入学した皆さんを温かく迎えた。

また、開講式の終了後に、「高齢者の事故防止について」のビデオ上映と本部署・下地良一警部補の講演も行われ、高齢者の交通事故が多発している現状に参加者は事故防止



人生は明るく楽しくのびのびと
北山老人大学開講式
学ぶ意欲いつまでも…300名余が入学

今年で二十九期を数える北山老人大学では、毎年、踊りやスポーツのレクリエーションのほか、美化活動、地域交流会など様々な活動が実施され、これまで、高齢者の生き甲斐づくりと学級生の学ぶ意欲を支援する役割を果たしてきた。

また、六月二十五日には、活動の一つである今帰仁村老人クラブ大会がコミュニティセンターで開かれる予定。当日は、学級生のみならず、多くの方の参加を呼び掛けている。



▲あいさつをのべる親川局長

「旬の味覚をお届けします」と今帰仁郵便局（親川恵一局長）のふれあい直送便「今帰仁産大玉スイカ出発式」が四月二十八日、今帰仁郵便局の構内で行われた。

出発式で親川局長は「今帰仁スイカは県内はもとより本土市場においても好評で年々着実に発送実績を伸ばしている。今後とも地元特産品のPRと消費拡大に務めたい」とあいさつを述べた。

ふるさと小包にのせたスイカの発送は、今年で四年目。初年度の一千個余りから三年目には四千個までに実績を伸ばしている。

みずみずしい旬の味覚
「今帰仁産大玉スイカ出発式」



郵便局

今帰仁スイカと農産物フェア
6月17日(土) 18日(日)
今帰仁の駅「そーれ」前広場



▲左から作詞した中林照琴村さん (中)まさやさん (右)ゆうぞーさん

「スイカ太郎」CDデビュー

「スイカ・スイカ・スイカ太郎です」という歌聞いたことがありますか。昨年のスイカ祭で歌ってくれた、まさやアンドゆうぞーさんの歌うあの「スイカ太郎」。スイカ祭の関係者が、「祭のテーマソングを」と軽い気持ちでお願ひしたのが今回のCDデビューとなった。

歌うお二人は現役先生、生徒を指導するかわら大好きな音楽を通して人と人とのふれあいを大切にしていくアーティスト。そのスイカ太郎のCDデビューを記念し、このほど村中央公民館で記念ライブが行われた。

今帰仁生まれの今帰仁育ちの「スイカ太郎」今帰仁の特産物として今帰仁の駅「そーれ」で販売中、ちなみにその他四曲入って千円でいす。

花づくりの技術と経営の向上、発展を目的に開かれた第九回花の国づくり共励会（主催：(財)日本花普及センター・後援：農林水産省）の花き技術・経営コンクールにおいて天底の大城清利さん(46)が見事、農林水産省・農産園芸局長賞を受賞しました。

この賞は、花き生産において優れた技術と経営能力を兼ね備え、かつ地域社会の支持と共感を得た農業指導者に対して贈られるもの。

大城さんは、二十一年前からキク栽培を始め、その間、若手生産者の指導や新しい技術の導入のほか、いち早く減農薬栽培に手がけるなど、人にも環境にも優しい農業経営などが認められた。

全国で4名の方に贈られる
農産園芸局長賞
大城清利さんが受賞



▲今後農業経営の励みにしたいと話す大城さん

今回、受賞を受けた大城さんは、今年二月に県花き品評会（大菊の部）において農林水産大臣賞を受賞した座間味敏夫さん（上運天）と同様、村の農業委員を勤めるかたわらの快挙であり、本村の優秀な農業指導者の表彰に、上間博安村長は、「菊は本村の農業経済の柱であり、品質や生産技術共に高いレベルにある。今後とも産地固定化に向け、地域リーダーとして精進していただきたい」と祝福の言葉を贈った。



沖縄一？ いや日本一？

真紅の花がうりずんの到来告げる
これはでっかい！でっかい大木

崎山

崎山区の保安林内にどっしりと根を張る巨大なでいごの大木にうりずんの到来を告げる真紅の花が咲きほころび、通り掛かる人の目を楽しませた。

このでいごの木は、高さが約十二メートル、横幅十六メートル、幹回りなんと大人五人がかりで抱えきれないほどの大きさ。

近くのゲートボール場で手を休めるお年寄りの皆さんからは、「わたし、八十歳になるけど小さいころから大きかったよー」と樹齢は百年以上では、いや、蔡恩松よりも古いのではなどと思いを馳しながら大木にまつわる話が飛び出した。

その中、以前役場の林業業務に従事していたという山城



でいごは、台風などの強風で枝が折れやすい上に、強靱な根っこで建築物を壊してしまう前に切り倒されてしまう

一男さん(86)は、「戦後の荒地に緑を戻そうと村内の所々にでいごの木が植えられた。その際、この大木からさし木用の枝を切り取り利用した」と当時の様子を語った。

▲昔は、枝ぶりもすばらしかったと地元の人は話す

ことが多いという。植物に詳しい役場・林業係長の仲里生男さんは「これほどまで成長するものは珍しく、土地が肥沃で防風林に囲まれた環境がここまで育てたのでは」と話してくれた。

昔から、でいごの花がみごとに咲き誇る年は、「日照りが続く」といわれているようですが、農業を営む方の多い本村では、この言い伝えだけは信じたくないものです。



第十回やんばる駅伝・与論島記念大会 健脚競い そして文化の交流も



▲「たのみます」タスキに思いをこめて

毎年、伊平屋島、伊是名島、伊江島の北部の三離島を持ち回りで開催し、スポーツを通して地域間交流を行うことで注目を集めている「やんばる駅伝競争大会」が、今年は、十回の節目を記念し、初めて県境を越えた鹿児島県の与論島に舞台を移し開催された。



▲会場をうならせたスピード感あふれる今泊棒

沿道からの熱い声援の中、レースは先行する本部チームをその他のチームが激しく追いつき逆転、そのままゴールに飛び込み、二年連続二度目の優勝を納めた。

昨年三位の好成績を上げた今帰仁村チームは、多くの故障者を抱え、本来の力を発揮できなかった。大会終了後は「砂美地来(さびちゅら)館」前広場において、ミール汁、ソーキ汁、ヤギ汁などのほか、地元産物を素材とした数々の手料理が振る舞われた。



▲健脚をたたえあい交流の輪を広げる

打ち合う実践型といわれる棒術は八百名余りで埋めつくした会場が一瞬、静まりかえるほどの迫力あるものだった。引き続き「交流会」に移ると各チームが入り混じり、互いの健脚を称えあいながら、交流の絆を深め、最後は、来年の開催地・伊平屋村での再会を誓い、大会の幕を閉じた。



▲2連覇を果し思わずガッツポーズの今帰仁マリズ

個人賞	
●殊勲賞	幸地敏樹 (今帰仁マリズ)
●敢闘賞	与那嶺久 (今帰仁クラブ)
●打撃賞	1位 内間将二 (今帰仁マリズ)
	2位 大城哲郎 (今帰仁マリズ)

試合は、決勝戦にふさわしく幸地、与那嶺、両好投手の投げ合いと好守備で、一点を争う白熱した好ゲームを展開。一対一の同点のまま特別ルールを適用した延長戦は、先に二点を奪われた今帰仁マリズが、その裏の攻撃で一番・大城陸也のセンター頭上を越える走者一掃の二塁打であざやかに逆転勝ちした。

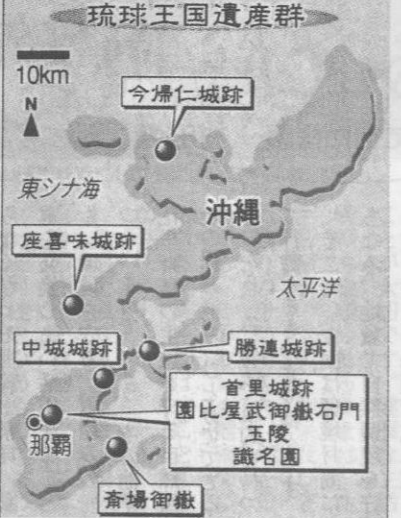
今帰仁マリズは、昨年に続き二度目の優勝を手にした。村体育協会(大城勝会長)主催の野球大会が、運動公園サブグラウンドを主会場に村内の職場チームや同好会チームなど十二チームが参加して、熱戦を繰り広げた。

決勝戦は、共にチームの持ち味を発揮し、勝ち進んできた今帰仁クラブと今帰仁マリズの二年連続同じ顔合わせとなった。

後世に残そう今帰仁グスク及び関連遺産群

沖縄は十四世紀から十六世紀にかけて、中国や日本、東南アジアと貿易を行い独自の歴史と文化を育み琉球王国を形成した。国は昨年の六月に、琉球王国の栄華と精神性を現在に伝える文化遺産として「琉球王国のグスク及び関連遺産群」をユネスコ世界遺産への推薦を決定した。目下推薦書類が審査され、審査をスムーズにクリアすれば今年末には登録が決定する運びである。

推薦された文化遺産群は本村の今帰仁城跡をはじめ座喜味城跡、勝連城跡、中城城跡、首里城跡、園比屋武御嶽石門、



玉陵、識名園、斎場御嶽の九つの資産である。世界遺産に登録されると中国の万里の長城やエジプトのピラミッドのように人類共有の遺産として高く評価されることになる。この「村の宝」が世界共有の財産になろうとしている今、沖縄の歴史と文化を育んだ先人の努力に心から感謝し、登録の実現に向け保全に最善を尽くしたい。次代を担う子供たち、もうすぐやってくる二十一世紀へ、そして国内外に



▲上空からの今帰仁城跡

いる人々に夢と希望を与えることであろう。今帰仁の歴史や文化を世界にアピールできるチャンスである。

第一回「今帰仁城跡」世界遺産登録記念事業実行委員会開催

村は今帰仁城跡の推薦・登録を契機に心あふれるイベント・行事等を実施することを主な目的として五月十日に第一回の「今帰仁城跡」世界遺



▲記念事業について話し合う委員

産登録記念事業実行委員会を村役場で開催された。開会にあたり上間博安村長が「これを契機において今帰仁城をPRしよう」とあいさつ、その後行われた委嘱状交付式で二十九人の委員が委嘱された。協議事項では役員選出が行われ、実行委員長に大城藤夫教育長が選出された。

また平成十二年度事業について多くのアイデアが提示され、記念事業の成功に向けて一丸となつて取り組むことが確認された。

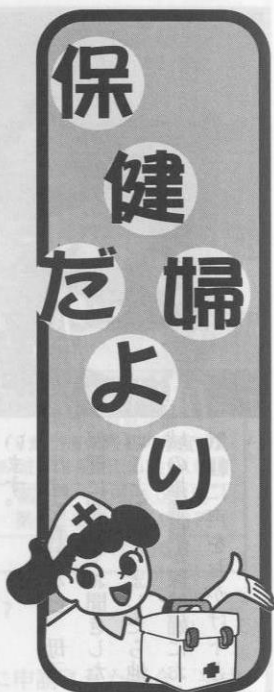
宮城弘樹 (今帰仁村教育委員会文化財係)



▲資料を手にし栄養について学ぶ参加者

今婦仁村は、住民健診の結果、①糖尿病の有所見率が最も高い。②寝たきりの方が年々増加している。③四十〜五十歳代の年齢層に食事の問

樹々の緑も深くなる頃、村民の皆様にはいかがが過ぎでしょうか。いつまでも健康で、長生きされることはだれもが望んでいることでしょう。さて今回は、皆さんの健康づくりを支援する二つの事業について紹介します。



題や運動不足・不規則な生活習慣が多い。などの問題があげられています。これらを解決していくためには、栄養・運動・休養などの生活習慣そのものを見直すことが大切です。健康な生活習慣を継続させることは、生活習慣病の予防・痴呆及び寝たきりの予防となり、年を重ねても、自分らしく健康でいられる期間を伸ばすことにつながります。生活習慣の見直しは、自身の意欲と行動によって始めて可能となるものであつ

私が、チョウに関心をもち始めたのは、幼い頃今婦仁に越して間もない小学四年生の頃でした。家の回りを飛びかうチョウを雑誌や図鑑などで夢中になって調べ、採集道具に関して、直接東京に注文して取り寄せるほど熱中していました。

①モデル地区 健康づくり事業

この事業は、いくつかの字をモデル地区として特定し、各種の健康づくり活動を行います。地域の人がお互いを気遣いあう雰囲気づくりを目指し、いずれば自主的な運営ができるよう行政は支援していきます。昨年との与那嶺・仲尾次・渡喜仁の三地区をモデル



▲調理実習を行う推進員の皆さん

選に選ばれ、互いに喜び合いましたが、あの時の感激は今でも覚えています。

②保健推進員育成事業

住民が自らの健康に関心をもち、地域に根ざした健康づくりの運動を展開していくためには、地域における人材の育成・活用がきわめて重要になってきます。



▲宮城先生(運動士)の実技体操

平成十一年度は、栄養・運動・休養について十二回のプログラムで健康(育成)教室を行い、二十三人の保健推進員がこれを修了しています。平成十二年度も、多くの保健推進員が育成できるよう、各字二〜四人程募集して事業を実施します。

以上、ゆいまるで健康村づくり事業について述べましたが、これからは「与えられる健康」でなく、「求める健康」を共に目指しませんか。「ゆいまるで健康村づくり事業」についてのお問い合わせは、村保健センター(保健予防課・五六一二二三四)までお願いします。



◎環境問題について 考えてみませんか

以前、テレビから「みんなで行こう地球船号」と環境保護を呼び掛けるコマーシャルが流れていましたが、今や環境保全、問題についての意識は、すでに多くの人々に浸透しているでしょう。ひとくちに「環境保全」といってもその取組みにはいろいろなものがあります。たとえば、資源として再利用するために空き缶、空き瓶、牛乳パックなどの回収運動、また、い



▶大きな活動にしたいと話す村田さん

「天然記念物を 保護し育成する会」 代表・村田 精太郎さん(77)

それから夏休みを利用し、クラス全員の協力のもと、約八十種のチョウを集めて標本を仕上げました。この標本は、その年、県主催の作品展で特

「天然記念物を保護し育成する会」

私が、チョウに関心をもち始めたのは、幼い頃今婦仁に越して間もない小学四年生の頃でした。家の回りを飛びかうチョウを雑誌や図鑑などで夢中になって調べ、採集道具に関して、直接東京に注文して取り寄せるほど熱中していました。

戦争も終わり、私も歯科医師の資格を取得し、那覇で開業するまでになりました。これまでがむしろに生きてきたわけですが、十七年前、今婦仁に移り住むと同時にチョウに熱中した昔を思い出しました。

とても苦労しました。やっと見つけてきた食草を挿し木などで増やし、山へ戻すことを続けてきましたが、私たち家族で取り組むには限界を感じたわけです。

選に選ばれ、互いに喜び合いましたが、あの時の感激は今でも覚えています。

平成十一年度は、栄養・運動・休養について十二回のプログラムで健康(育成)教室を行い、二十三人の保健推進員がこれを修了しています。平成十二年度も、多くの保健推進員が育成できるよう、各字二〜四人程募集して事業を実施します。

あまから 伝言板 くまから

児童手当とは

家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的として支給される手当です。

児童手当を受給できる人

3歳未満の児童を養育している方で、前年(1月から5月までの月分については前々年)の収入が一定の額未満の場合に受けられます。

6月は現況届けの月です

児童手当現況届は、毎年1回すべての受給者自身が出す届です。この届は受給者の前年度の所得の状況と6月1日現在の養育の状況などを毎年1回確認するための届です。もしこの届を出さないと引き続いて受給資格があっても、6月以降の手当の支払いを受けることができなくなりますので必ず提出して下さい。

なお届は下記の日程で村役場福祉課で受け付けますので、加入年金手帳・印鑑をご持参下さい。

日時	午前9時～午後4時まで
6月14日(水)	今泊、兼次、諸志、与那嶺、仲尾次、崎山、平敷、越地、謝名、仲宗根
6月15日(木)	玉城、呉我山、湧川、天底、勢理客、渡喜仁、上運天、運天、古宇利

※ご不明な点など詳しいことは村役場福祉課児童福祉係へお問い合わせ下さい。☎56-2101(内線139)

児童手当が義務教育就学前まで支給されます

現在、3歳未満のお子さんを養育している方に支給されている児童手当は、制度が改正され、平成12年6月1日から次のようになります。

	改正前	改正後
対象年齢	3歳未満	義務教育就学前 (6歳到達後最初の年度末) ※平成6年4月2日以後に生まれた児童
手当月額	第1子・2子 5,000円 第3子以降 10,000円	第1子・2子 5,000円 第3子以降 10,000円
支払時期	2月・6月・10月	2月・6月・10月

○いづれも手続きすればいいの?

《新規に請求する方》

平成12年9月30日までに申請された場合、平成12年6月分までを上限としてさかのぼって支給されます。(9月以前に支給要件にあてはまっていた月分に限ります。)

(注意)ただし、9月に申請した場合、事務処理上10月の支払い日に間に合わない場合がありますので早めに提出して下さい。また、9月30日は土曜日のため窓口はお休みです。

6月11日(日)は県議会議員選挙の投票日

● 今回の選挙で投票できる者

今回の県議会議員選挙で有権者として投票できるのは、投票日迄に満20歳に達する者(昭和55年6月12日迄に出生した者)で、平成12年3月1日迄に今帰仁村に住所を有する(届出)に至った者となっています。その日以後の転入者は、前住所地で投票できますが、居住証明が必要となりますので住民票を持参して前住所地で投票して下さい。

お問い合わせは村選挙管理委員会へ 電話56-2101(内線138)

● 不在者投票(印鑑が必要です。)

不在者投票は、特別な事由により投票することができない場合に指定された場所において投票することをいいます。この投票は特別な事由がある旨の宣誓書を提出して行う事になっています。偽りの宣誓書を提出して不在者投票を行った場合は罰せられることもありますので充分注意して下さい。その他指定を受けた病院、施設等においても不在者投票ができます。

今帰仁村長選挙立候補者 予定者説明会

8月22日任期満了に伴う村長選挙の投票日を7月30日(日)に決定しました。

立候補予定者の説明会を下記日時に開催致します。

日時 7月3日(月)午後2時～
場所 村役場2階会議室
問合せ(今帰仁村選挙管理委員会)

「ごみ減量・リサイクル」推進週間

5月30日～6月5日

海神祭

6月17日(日)
運天漁港構内

一 寄 付

村社会福祉協議会へ

○我那覇志津子さん(天底五二一六)より弟、祝嶺正弘様の香典返しとして五万円

○神谷繁雄さん(湧川一〇五三)より父、繁昌様の香典返しとして五万円

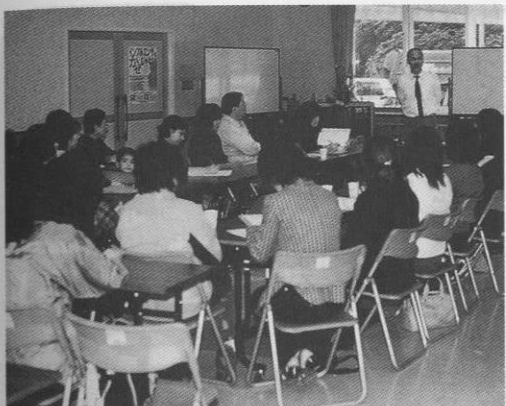
○仲本英子さん(豊見城村字高嶺六一〇一八三)より、仲本一郎様(今泊出身)の香典返しとして十万円

村育英会へ
○大城甚正さん(平敷十三)より妻、静様の香典返しとして十万円

○金城辰雄さん(東村慶佐次一〇七)より人材育成資金として十万円

*芳志ありがとうございました。

母子保健推進員 委嘱状交付式



▽現石先生の講話に目を傾げる参加者

妊産婦や乳幼児の生活、健康について訪問相談や助言指導を行う、母子保健推進員の辞令交付式が四月二十七日、村保健センターで行われた。あいさつに立った大城勝助役は「少子高齢化の時代、子ども達は未来への大きな希望です。皆さんの手で明日を担う子ども達の健やかな成長を手助けしていただきたい」と激励し、推進員一人ひとりに委



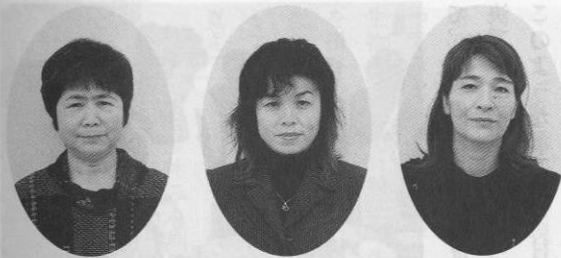
嘱状を手渡した。その後、名簿高等予備校の興石正校長先生を迎え「子どもとのかかわり方」と題して講演が行われた。

「子どもは、誰しも大きな可能性を持っており、物事を考えることが嫌いでなければ、なにかのきっかけで大きく伸びるもの」とこれまでの子育てや教え子とのかかわりを通して気づいたこと、感じたことを話し、参加者はメモを取りながら、熱心に耳を傾けた。

現在、本村の母子保健推進員は二十人の方で構成され、各推進員は、受け持つ字を中心に保健婦と連携しながら栄養指導や育児相談、定期健診の呼び掛けなどの活動を行っています。出産や育児など、母子保健に関してお聞きしたいことがありましたら地域の推進員か保健婦にお気軽に声をおかけ下さい。

◎兼次・諸志・湧川で 保健推進員代わる

今年には三カ字で推進員の交代がありました。兼次区では大城千枝美さんから玉城尚子さん(兼次七二二)へ、諸志では内間美佐子さん(諸志一三四)に、湧川では長田末子から仲宗根志津子(湧川四〇〇)へそれぞれ交代しました。これまで勤められました皆様、本当にご苦勞様でした。また、新しい推進員に皆さんをよろしく願います。



湧川担当 仲宗根志津子さん
諸志担当 仲村智子さん
兼次担当 玉城尚子さん

「水道でつなごう豊かな新世紀」 第42回水道週間 6月1日～7日

今や全世界が利用できるまでに普及している本村の水道事業は、これまで健康で文化的な村民生活や様々な社会経済活動を支える必要不可欠な生活基盤施設として重要な役割を果たしてきました。

村では、21世紀に向けてこれからも、より村民に信頼される水道を築き上げて行くために、安全で良質な水を安定供給できる水道管理に努めていきます。

また、受水槽や屋外タンクを設置されている御家庭は、この「水道週間」を機に掃除、点検をされてみてはいかがでしょうか。



湧川担当 伊波晶子さん
玉城、呉我山担当 新城成子さん

◎新しい水道検針員に 新城成子さんと伊波晶子さん
これまで、玉城、呉我山、湧川地区のご家庭を回り水道使用量の確認と集金業務を行っておいりました水道検針員の新しい新里良子さんに代って、新しく四月一日付けで、玉城、呉我山担当に新城成子さん、また湧川担当を伊波晶子さんが受け持つことになりました。

三カ字をまとめて受け持つことができました新里さん、本当にご苦勞様でした。また新しい検針員の方に村民の皆さまのご協力をお願い致します。

6月/水無月

1	木	○親子ふれあい人形劇公演 (18:30 コミセン)
2	金	
3	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○村青少年の主張大会 (14:00~ コミセン)
4	日	○村ソフトボール大会 (9:00~ 運動公園他)
5	月	○区長会
6	火	○郷友会資金造成チャリティゴルフ (那覇カントリーゴルフクラブ)
7	水	○健康相談 (9:00~11:00 保健センター)
8	木	
9	金	
10	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○ムラ・シマ講座 (9:00~ 歴史文化センター)
11	日	○県議会議員選挙
12	月	
13	火	○日本脳炎予防接種 (3歳児) 保健センター
14	水	
15	木	○1歳半・3歳児健診 (保健センター)
16	金	○牛セリ市 (9:00~ セリ市場) ○健康づくりと栄養勉強会 (保健センター15:00~)
17	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○今帰仁スイカと農産物フェア (13:00~19:00)
18	日	○今帰仁スイカと農産物フェア (9:00~19:00) ○海神祭 (9:00~ 運天漁港)
19	月	
20	火	○区長会 (14:00~ 2階会議室)

21	水	○心配ごと相談 (13:30~16:30 コミセン) ○「朝読み・夕読み」コンクール表彰式 (14:00~コミセン)
22	木	○日本脳炎予防接種 (もれ者)・デイケア (保健センター)
23	金	○慰霊の日
24	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
25	日	
26	月	○農業委員会総会 (13:00~ 会議室)
27	火	○村老人クラブ大会 (14:00~ コミセン) ○狂犬病予防接種 (モレ犬) 午前中
28	水	○北山病院落成式
29	木	
30	金	○高齢者学級開級式 (14:00~ 中央公民館) ○リハビリ教室 (毎週水曜日13:00~ 保健センター) ○健康相談 (毎週月曜日9:00~11:00 保健センター)

7月/文月

1	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン)
2	日	○村PTAバレーボール大会
3	月	
4	火	
5	水	○区長会 (14:00~ 2階会議室)
6	木	
7	金	○DPT予防接種 (保健センター) ○老連グランドゴルフ大会
8	土	○おもちゃ図書館 (9:00~12:00 コミセン) ○ムラ・シマ講座 (9:00~ 歴史文化センター)
9	日	

編集後記

■五月の第二日曜日は「母の日」でした。私にも、幼い頃から育ててくれた母同然のおばーがいる。日ごろのお世話に心をこめて感謝、感謝。

ここで、私のおばーを紹介。血圧が高く塩分を控えているにもかかわらず、おばーの好物はなんと「金ちゃんヌードル」汁を最後までおいしそうにすすり、心配する私を見て一言。「うひなーや、くすいやさ」(少しくらいは薬だよ)

日中は、昼寝、うたた寝で休養は充分と思うのだが、「我ぬ、夜、にんばらんしが、だーん、わつさるあいがやー」と首をひねる。

心配性で神経質なのになぜか大ざっぱな性格。(孫にも引き継がれたような・・・)そんな、おばーも今年で八七歳。いつまでも元気です。

四月から私が広報担当に就いたことを聞き付けて「わんぬん、うひぐわー新聞かいぬしららんなー」と、「おばー。うぬ程度で、しまびんなー」(よろしいですか)